

「ことばの力の育成」を目指す 読書環境づくり



名古屋市立東築地小学校 校長 伊藤 葉子

〒455-0023 名古屋市港区東築地町26番地

TEL 052-691-0111 FAX 052-693-1431

URL <https://www.nagoya-c.ed.jp/school/higashitsukiji-e/>

事業のねらい

本校の児童は、国語科の学習に楽しく取り組んではいるものの、「語彙が少ない」「文章を読むのに時間がかかる」「作文が苦手な子が多くみられる」という様子が見られます。その理由を探ろうと児童の様子を見てみると、本を読み、豊かな言葉にふれる経験が不足していることが分かりました。昨年度の読書に関する調査では、児童の約40%が「読書が好きではない」と答え、半数以上が「図書室に一週間に一度も行かない」と答えているという実態がありました。

このような実態を踏まえ、本校の児童が本に親しみ、豊かな言葉にふれて興味をもつことができるような環境を整備したいと考え、読書に親しむ環境づくりを、ハード面からもソフト面からも行うことにしました。言葉や本に興味をもち、進んで読書を楽しんだり、本から新しい知識を得ようとしたりする児童を育てることが、「ことばの力の育成」につながっていくと考えます。

事業の内容

魅力ある図書室づくり

図書室の入り口とその付近の掲示板を改装し、親しみやすい雰囲気になりました。また低学年用図書室「おとぎの部屋」の一部をカーペット敷きにし、児童がリラックスして本を読んだり、教師による読み聞かせをしたりすることができるようにしました。

読み聞かせの充実

子どもたちの中には文章を読むことが苦手な児童もいます。そのような児童でも、本に親しみ、本の世界を楽しむことができるよう、様々な読み聞かせを行いました。体育館にはプロジェクターを設置し、全校読み聞かせを行うことができるようになりました。

児童発信の企画の実施

本校の児童は、委員会活動に積極的に取り組みます。図書委員会の児童が選んだ本の紹介や全校参加型の絵本作りなど、児童のアイディアを大切に活動を行いました。

事業の成果

学校司書と連携し、本の楽しさを発信しました

学校司書と連携して本の整備を進めました。図書室内を常に整理整頓するとともに、「おすすめの本コーナー」や「調べてみようコーナー」など、児童の読書への関心を高めるような工夫をしました。

改装された図書室入り口付近の掲示板には、時節にふさわしい本の紹介や、子どもたちの読書活動の成果を掲示しました。



【掲示板には本の紹介や児童の活動紹介を】

読み聞かせが充実し、本の世界に親しむことができました

カーペット敷きとなった「おとぎの部屋」では、担任だけでなく、外部講師を招いての読み聞かせや、休み時間に図書委員の児童による読み聞かせを行いました。

感染症対策のために児童が図書室に集まるのが難しい時期には、図書委員の児童がテレビ放送を利用して読み聞かせを行い、「みんなで絵本の1ページをつくってみよう」と全校参加型の絵本作りに取り組みました。



【「おとぎの部屋」に外部講師を招いて】

プロジェクターが導入された体育館では、人権週間に校長による読み聞かせを行いました。

読み聞かせが行われた日には図書室の「おすすめ本コーナー」に児童が集まる様子が見られました。



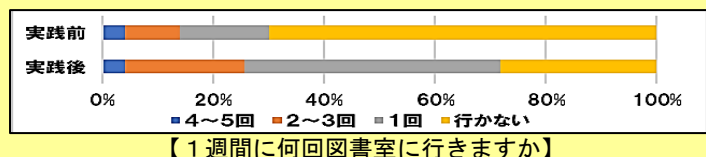
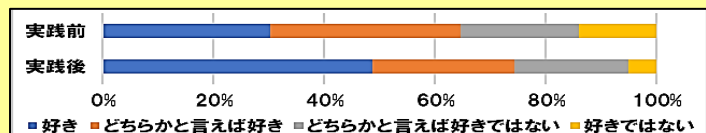
【図書委員による放送での読み聞かせ】



【人権週間に体育館にて】

図書室の利用が増えました

全校児童へのアンケートでは右図のように、「読書が好き」と答える児童が以前と比べて増えました。また、図書室の利用も増え、図書の貸し出し件数も増加しました。



事業のまとめ

学校司書と連携して図書室を整備したり、本の紹介を充実させたりしたことが、図書室の利用の増加につながりました。読み聞かせや図書委員会の紹介で知った本を実際に手に取る姿が見られたことから、児童の読書への関心の高まりが感じられました。

今後も、児童が進んで読書に取り組みたくなるような環境整備を進めます。そして、学習活動の中に図書を積極的に活用した授業実践に取り組んでいくことで、ことばの力の育成に努めていきます。